

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年8月7日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東  
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 敏男  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 赤石 昌大 TEL 03-5778-7777(代)  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	55,185	30.7	23,851	38.1	24,391	38.8	17,447	39.5
2025年3月期第1四半期	42,210	△16.9	17,273	△10.0	17,575	△9.8	12,503	△11.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 17,431百万円(40.0%) 2025年3月期第1四半期 12,449百万円(△14.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	80.36	79.32
2025年3月期第1四半期	57.00	56.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	311,913	269,752	86.0
2025年3月期	336,709	285,004	84.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 268,187百万円 2025年3月期 283,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	40.00	-	60.00	100.00
2026年3月期	-				
2026年3月期(予想)		-	-	-	90.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 2026年3月期(予想)の配当金については、連結配当性向40%を目安とした業績連動型配当を行うことを基本方針としております。なお、2026年3月期の事業計画を年次で管理しており、中間と期末の配当を分けて予想することができないため、年間配当金の合計のみを記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	△3.6	63,000	△14.4	64,000	△14.2	44,000	△18.5	214.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 当社グループは事業計画を年次で管理しており、通期での開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	260,000,000株	2025年3月期	260,000,000株
2026年3月期1Q	48,122,296株	2025年3月期	40,391,071株
2026年3月期1Q	217,122,696株	2025年3月期1Q	219,348,937株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式 (2026年3月期1Q 1,283,700株、2025年3月期 1,320,000株) が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託が保有する当社株式 (2026年3月期1Q 1,318,005株、2025年3月期1Q 1,349,176株) が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

パチンコ市場におきましては、パチンコ機の稼働状況が依然としてやや低調に推移しているものの、スマートパチンコ機（以下、スマパチ）におけるゲーム性の拡充を契機として、各社からスマパチの新タイトル投入が増加しており、スマパチの普及は徐々に進行しております。さらに、7月には新たなゲーム性である「ラッキートリガー3.0プラス」搭載機種を導入も始まっており、今後のパチンコ市場の活性化が期待されております。一方、パチスロ市場におきましては、高稼働機種の継続的な登場により、稼働状況は堅調を維持しているものの、スマートパチスロ機の普及率の高まりにより、パチスロの購買需要はやや落ち着きを見せております。また、パチスロにおいても6月より導入が始まっているパチスロの新たなジャンルとして注目される「ボーナストリガー」を含む今後の新機種動向が、需要を喚起するものと期待されております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間において、当社グループでは、パチンコ機関連事業におきましては、新規3タイトルに加え、リユース機等を含む7タイトルを販売し、順調に販売台数を積み上げることができました。4月に投入した人気アニメ作品「東京喰種」とのタイアップ機は、販売・稼働ともに好調に推移しております。さらに、7月には「ラッキートリガー3.0プラス」搭載機種として業界第一弾となる「eフィーバー炎炎ノ消防隊2」を販売しております。一方、パチスロ機関連事業におきましては、新規1タイトルを販売したほか、長期稼働中の2タイトルの増産対応を行いました。また、7月には、「ボーナストリガー」を搭載した「LB パチスロ エヴァンゲリオン ～約束の扉～」を販売するなど、パチンコ・パチスロともに新たなゲーム性を取り入れた商品開発を積極的に推進しております。

以上の結果、売上高551億円（前年同四半期比30.7%増）、営業利益238億円（同38.1%増）、経常利益243億円（同38.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益174億円（同39.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高367億円（前年同四半期比105.5%増）、営業利益176億円（同117.3%増）、販売台数79千台（前年同四半期は40千台）となりました。

新規販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバーうたわれるもの」（2025年4月）、「eフィーバー彼女、お借りします」（2025年6月）、B i s t yブランドの「e 東京喰種」（2025年4月）の3タイトルであります。

#### (パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高150億円（前年同四半期比9.5%減）、営業利益76億円（同21.0%減）、販売台数35千台（前年同四半期は35千台）となりました。

新規販売タイトルは、B i s t yブランドの「Lパチスロ 機動戦士ガンダムSEED」（2025年5月）1タイトルであります。長期稼働中であるSANKYOブランドの「パチスロ からくりサーカス」、「Lパチスロ かぐや様は告らせたい」の増産を行いました。

#### (補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高33億円（前年同四半期比56.0%減）、営業利益2億円（同61.1%減）となりました。

#### (その他)

その他につきましては、売上高97百万円（前年同四半期比30.8%減）、営業利益29百万円（同36.5%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,119億円であり、前連結会計年度末と比べ247億円減少しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が72億円増加となりましたが、現金及び預金が289億円、原材料及び貯蔵品が31億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は421億円であり、前連結会計年度末と比べ95億円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が11億円、賞与引当金が4億円それぞれ増加となりましたが、未払法人税等が100億円、有償支給取引に係る負債（流動負債「その他」に含む）が18億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ152億円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益174億円を計上した一方、自己株式の取得194億円、配当金の支払い132億円を計上したことによるものであります。この結果、純資産は2,697億円となり、自己資本比率は1.8ポイント増加し、86.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	180,064	151,143
受取手形、売掛金及び契約資産	15,993	23,287
電子記録債権	6,400	5,257
有価証券	59,985	59,984
商品及び製品	3,441	4,667
仕掛品	133	434
原材料及び貯蔵品	15,934	12,799
その他	12,601	12,304
貸倒引当金	△13	△10
流動資産合計	294,541	269,869
固定資産		
有形固定資産	27,482	27,722
無形固定資産		
その他	327	309
無形固定資産合計	327	309
投資その他の資産		
投資有価証券	5,349	5,320
その他	9,029	8,711
貸倒引当金	△22	△20
投資その他の資産合計	14,357	14,011
固定資産合計	42,167	42,044
資産合計	336,709	311,913
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,623	13,733
未払法人税等	16,769	6,757
賞与引当金	870	1,362
株主優待引当金	154	154
その他	11,442	10,192
流動負債合計	41,860	32,198
固定負債		
株式給付引当金	933	933
退職給付に係る負債	5,254	5,258
資産除去債務	76	76
その他	3,580	3,694
固定負債合計	9,844	9,962
負債合計	51,704	42,161

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	290,721	294,875
自己株式	△48,375	△67,740
株主資本合計	280,936	265,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,524	2,504
退職給付に係る調整累計額	△46	△42
その他の包括利益累計額合計	2,478	2,462
新株予約権	1,590	1,564
純資産合計	285,004	269,752
負債純資産合計	336,709	311,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	42,210	55,185
売上原価	17,127	21,289
売上総利益	25,083	33,896
販売費及び一般管理費	7,810	10,044
営業利益	17,273	23,851
営業外収益		
受取利息	14	100
受取配当金	192	259
その他	97	182
営業外収益合計	304	541
営業外費用		
投資事業組合運用損	-	1
その他	2	0
営業外費用合計	2	2
経常利益	17,575	24,391
特別損失		
固定資産廃棄損	1	-
特別損失合計	1	-
税金等調整前四半期純利益	17,574	24,391
法人税、住民税及び事業税	4,932	6,454
法人税等調整額	138	489
法人税等合計	5,070	6,943
四半期純利益	12,503	17,447
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,503	17,447

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	12,503	17,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	△19
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	△53	△16
四半期包括利益	12,449	17,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,449	17,431
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式7,812,500株を取得しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が19,469百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が67,740百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	440百万円	543百万円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,866	16,610	7,592	42,070	140	42,210	—	42,210
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	17,866	16,610	7,592	42,070	140	42,210	—	42,210
セグメント利益	8,118	9,729	600	18,448	46	18,495	△1,222	17,273

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,712	15,037	3,337	55,088	97	55,185	—	55,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	36,712	15,037	3,337	55,088	97	55,185	—	55,185
セグメント利益	17,644	7,686	233	25,564	29	25,594	△1,742	23,851

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。